

カトリック河原町教会だより

2015年7月

「京都済州姉妹教区の日」6月7日

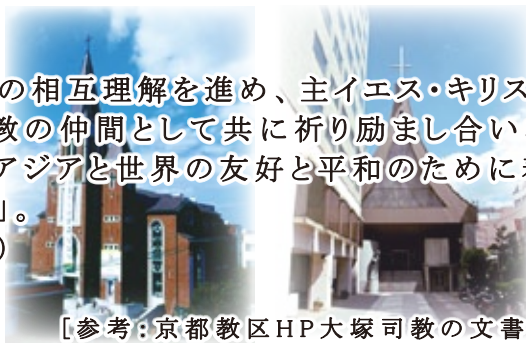
アジアと世界の平和と友好を願う

京都教区は、2004年に「日韓司教交流」の10年目を迎えました。その実りとして、2006年6月7日に、韓国の済州教区と「姉妹教区」の調印式を河原町教会聖堂において行いました。

大塚司教は文書の中で「姉妹教区の意義は『初代教会から受け継いだ神の民の交わりを深めること』にある」と述べています。さらに「日本も韓国も2000年のカトリック教会の歴史の中では、宣教の歴史は浅く、また小さな群れです。しかし、この神の民の小さな群れも神の民の交わりによって『一致と希望と救いのもっとも堅実な芽生え』になることができます」と記しています。そして、6月7日を「京都済州姉妹教区の日」とし、6月を姉妹教区のために祈る「姉妹教区月間」とされました。

「両国が歴史と文化の相互理解を進め、主イエス・キリストに招かれた福音宣教の仲間として共に祈り励まし合いながら、両国をはじめアジアと世界の友好と平和のために奉仕したいと思います」。

(大塚司教の言葉)



[参考:京都教区HP大塚司教の文書]

2015年平和旬間行事

「いま一度平和を考える」



「広島平和アピール」

1981年、来日したヨハネ・パウロ二世教皇は広島・長崎にも足を運びました。その記録 DVD「平和の巡礼者ヨハネ・パウロ二世」(55分)を鑑賞し、キリスト者として、いま一度平和について考えてみませんか。

8月9日(日)10:30 ミサ後

カトリック河原町教会
ヴァリオンホール

皆、宣教師

洛東ブロック担当 ホセ・モンロイ神父

ご存知のように、イエスは御父のみもとに昇る前、誕生したばかりの教会に次の命令をされました。「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい」(マルコ16・15)。

わたしたちはこれを聞くと、その時の弟子たちだけに言われた言葉であると考えられるかもしれません。しかし、イエスはその時の弟子にだけ伝えたのではなく、彼らの弟子になる人々にも伝えたのです。従って、全世界のキリスト信者に、教会に、伝えたのです。

“全世界に行って”これを聞くと、外国に行くことを考えられると思います。しかし、「全世界に行く」ということは、たくさんの方のことを意味します。例えば、自分の世界に行くこと、自分のお友達の世界に行くこと、近所の世界、学校の世界、仕事場の世界、家族の世界に行くことです。そし



て、その世界の中に出会う人々がイエスの弟子になるために努めなければなりません。

皆さん、宣教することは、宣教師と呼ばれる司祭、ブラザー、シスターだけの務めではありません。キリストは、ご自分に従っているすべての人々に、その命令を伝えたのです。イエスに従っているグループの中には使徒でない者もいました。

最初の教会は、皆の務めだと考えましたので、その時の世界に早く教会が広まるように働きました。

わたしたち信者はイエスの望みに耳を傾けましたら、そして、出来る世界に行くことになりましたら、イエスのわが国の教会のために一生懸命に働きましたら、早く教会が広まることに間違いありません。

では皆さん、「皆、宣教師」になるように努めましょう。

ぶどうの会 巡礼バスツアー

時 : 2015年6月6日(土)
巡礼 : カトリック山国教会
見学 : 美山かやぶきの里
主催 : 河原町教会ぶどうの会

巡礼ツアーには、一場神父はじめ総勢50名が参加。神父のお祈りに続き、挨拶の中で、「こういう交わりに老若男女問わず、信徒の方は参加して交流を深めて欲しい」という言葉を披露され、またこれは司教の願いでもあることを明らかにされ、その気持ちに一同拍手で応えた。



瑞々しい新緑の映える山道を一路バスは走り抜け、定刻通り山国教会に到着する。そこには周りの風景に溶け込むように小さな聖堂が建っていて、信徒の方々から温かい出迎えを受けた。聖堂内はシンプルで温かく、心を合わせて一つひとつ思いを込めて造り上げられたであろう往時の様子が偲ばれ、大きな教会では味わえない雰囲気のあるこの教会が、これからもずっと存続することを願った。



一場神父司式によるミサがささげられた。このミサは、去る5月23日にオスカル・ロメロ大司教(エルサルバドル)が福者に列せられたことを感謝するミサであった。常に貧しい人々を愛し、神のみ言葉を伝え続けたロメロ大司教に倣い、私たちが大きなことをしなくても、毎日を少しの回心することで福音を生きていることを証しできる、というお話に勇氣をいただいた。

ミサ後、山国教会信徒代表、人魯様の挨拶と、聖堂完成までのいきさつなど、ユーモアを交えながらの興味深い話を聞き、最後に山国の皆様と一緒に写真に納まって教会を後にした。

今回の目的の一つでもある「美山かやぶきの里」は、日本の原風景というキャッチフレーズ通り、山々に囲まれた谷あいには広がり、のどかな農村風景は来訪者に安らぎと郷愁を与えている。美山町北は、現在も茅葺住居38棟が現存し、また、日本海沿岸から京都へと続く「西の鯖街道」としても栄えた。

地元ボランティアの方から散策道の

要所で説明を受けた。薪で煮炊きしていた頃は煙でいぶされて50年は維持できていた茅葺も、電気やガスに代わってからは20~30年しかもたなくなったという説明に、生活は便利になった分、維持の大変さを痛感させられた。

平成5年には国の重要伝統的建造物保存地区に選定され、この茅葺住居で生活続ける住民によって大切に保存されている。民家を改造した美山民俗資料館には、屋内での生活様式や生活具などが展示されており、簡素で無駄のない生活ぶりが窺えた。



時折しぐれたものの巡礼ツアーには程よい天候に恵まれ、予定の行程を無事に終え、今日の恵みを神様に感謝しつつ家路についた。(編集委員)

■その他
①クリスマスチャリティコンサート
の支援先はネパール大地震支援とする予定
②待降節黙想会の予定
十二月五日(土)十時から十六時。指導司
祭は溝部脩司教。テーマは未定

■協議事項
①平和旬間行事(八月九日)
十時半ミサ後、ヴィリオンホールで「いま一度平和を考える」をテーマに「平和の巡礼者ヨハネ・パウロ二世」DVD(五十五分)を鑑賞し、分かち合いをする予定
②洛東ブロック関連
・共同宣教司牧については、担当司祭会議において具体化する案を話し合う。
・ブロック長期目標・短期目標
長期目標は今年中に司祭団からの提案が文書化される予定

■行事予定
四ページの行事予定欄に記載

キム神父の提案の「青年の集い」開催に向けて名簿を作成する予定。堅信のための勉強会が実施されていない小教区の対応を協議した。⑤ザビエル訪れ会 部会を五月三十一日に開催。訪問者リストを見直し作成する。⑥キリシタン研究会 六月六日のキリシタン史特別講演会には約二百名が参加。六月九日の南山大付属小学校宿泊学習は学校の事情で中止となった。
■施設管理部 トイレ清掃奉仕者募集は八月中旬に行う予定
■広報部 高齢信徒への「河原町教会だより」郵送希望返信は現時点十一名で(計六十二名に案内文郵送)六月号から郵送を開始

聖書の植物

<ミルトス>

Myrtus communis

聖書の舞台は地中海東部地方ですが、その中にはいくつもの植物が登場します。中には、日本の園芸店で簡単に手に入るものもあります。下の写真は先日購入したばかりのミルトスです。常緑低木の木で、斑入りのものもあります。6月が花期で、今たくさんの蕾をつけています。和名はギンバイカ（銀梅花）と言い、その名の通り梅の花を想わせます。



西南学院大学「聖書植物園」のホームページによると、ミルトスは切られた後も生命力が強く、枯れにくいところから、干ばつにも耐える強木として、不死の象徴となり、成功・繁栄の象徴ともなったそうです。

旧約聖書のイザヤ書に、「茨の代わりに糸杉が生え、いらくさの代わりにミルトスが生える。それは主のための記念となり、断ち切ら

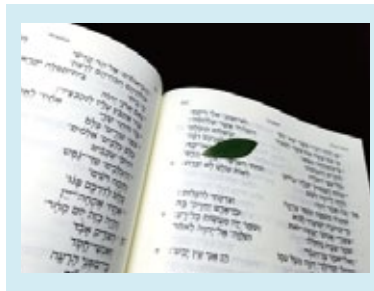
れることのない永遠の徴となる」(イザヤ書 55・13: フランシスコ会聖書)と書かれています。

苦難が祝福に変わるということですが、聖書の地のみならず、欧州でもお祝いの花として愛されているそうです。

ミルトスの葉は強い芳香を放ち、白い花の後に黒みがかった青い実がなります。これは香り高く、乾燥させて食用とし、また香水、鎮痛剤としても使われたようです。ユダヤ人は、神の寛大さの象徴ともされたこの木の枝を、仮庵祭のときに用います(ネヘミア 8・15)

また、ミルトスは、ヘブライ語ではハダスと言います。旧約聖書のエステルは別名をハダサと言いますが(エステル 2・7) これはミルトスの意味です。

ヘブライ語聖書にその言葉を見つけないとき、あの時代にその地にいた人々が見ていた花が、時空を超えて、東洋のこの地で今年も咲こうとしていることに感動を覚えます。(編集委員)



教皇フランシスコ

特別聖年を公式宣言

「いつくしみの聖年」

2015年12月8日から



3月13日、選出から2年目を迎えた教皇フランシスコは、バチカンの聖ペトロ大聖堂で行われた四旬節の回心式において、特別聖年『いつくしみの聖年』の開催を宣言しました。教皇はこの聖年を、いつくしみを証するカトリック教会の使命を強調するための年とし、「誰も神のいつくしみから排除されることはないのです」と呼びかけました。

この特別聖年は2015年12月8日に始まり、2016年11月20日まで続きます。

(カトリック中央協議会HP引用)



サン・ピエトロ広場

河原町教会六月評議会報告要約

開催日 二〇一五年六月七日(日)

司祭団の報告

- ①司祭不在が長かったが、通常の司牧に影響はなかった。ご協力に感謝します。
- ②今年度聖週間典礼の侍者の数が少なかったようで、今後検討していきたい。

南部地区合同堅信式報告

堅信式の受堅者は二十六名(河原町教会からは六名が受堅)

部会報告

典礼部 ①聖体授与の臨時の奉仕者を対象に桃山教会で一場神父指導により勉強会が行われた。②パイプオルガンの点検が完了した。

財務部 ①高齢信徒対応の「ザビエル訪れ会訪問者リスト」を五部会で再検討して名簿見直しをしてはどうか。六月までの前期決算を七月の評議会に提出予定。維持献金が減少、ミサ献金は増加、特別献金は減少の傾向にある。

教育部 ①土曜学校 夏の錬成会を準備中。テーマは「みんななかよし」(仮題)として、キリストの平和について考える。

②中高生会 四月十九日平常授業を開始。六月二十八日にネパール大地震被災支援のコーヒーションを開催の予定。教区高校生会「チェジュ教区青年信仰大会」と京都教区「中学生広島巡礼」の参加者募集「カトリック青年アジア体験学習」の参加者を募集中 ③エリの集い 五月十日のバザー収益金は七六、〇五〇円。土曜学校とネパール支援に送った。六月二十日に総会を開催予定 ④洛東ブロック合同教育部会

◆ 2015年7月・8月の行事予定 ◆

(8月は予定です。変更の場合があります)

月	日	曜	行 事 予 定
7	5	日	「京都済州教区交流10周年感謝ミサ」済州教区姜禹一司教(ペトロ)と大塚司教(パウロ)霊名のお祝い 10:30 評議会7月例会 10:30 ミサ後
	25	土	洛東ブロック会議(於:河原町教会) 14:00 評議会8月例会 14:00
8	2	日	「河原町教会平和祈願ミサ」司教ミサ/済州教区合唱団奉仕 10:30 評議会8月例会 14:00 京都済州姉妹教区交流10周年記念チャリティーコンサート 16:00~18:00
	5	水	~7日(金)教区中学生広島平和巡礼
	6	木	主の変容 日本カトリック平和旬間(15日まで)
8	9	日	「教区一斉平和祈願ミサ」 10:30 平和旬間行事 10:30 ミサ後
	10	月	~12日(水) 土曜学校錬成会
	15	土	聖母の被昇天 ミサ 7:00・10:30 主日のミサ 18:30
	29	土	教会学校研修会 10:00
30	日	田中司教霊名(ライムンド 8/31 記念日)のお祝い 10:30 教会美化デー	

◆「キリシタン史特別講演会」が開催されました

6月6日(土)午後2時から「ザビエルの願いはこうして実現した」と題する講演会が開かれ、約200名が参加。講師の野崎キリスト教会牧師神田宏大氏(写真左)は、ザビエルの布教を始点に、京都、大和、河内を舞台とした知られざるキリシタン史の流れを語り、その後、参加者の熱心な討議が行われました。



◆講演会「人生は 出逢いで決まる」が開催 6月7日(日)13:00~14:30

講演を行ったのは、主イエス・キリストとの出会いによって獄中で回心し、自らの信仰と神の愛を証している「NPO 法人マザーハウス」理事長の五十嵐弘志氏です。その活動内容は、元受刑者の社会復帰の支援、受刑者との文通活動や更正の支援など幅広く、自らの服役中の体験や活動を各地の教会や大学等で語っています。この「マザーハウス」の活動は、『カトリック生活』(ドン・ボスコ社発行)でも何度か紹介されています。この日の参加者は約60名で、熱心に耳を傾けていました。



河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)

7:00
10:30
12:00 (英語 第2・4)

月曜日 6:30
火曜日 6:30 18:30
水曜日 6:30 18:30
木曜日 6:30
金曜日 6:30 18:30
土曜日 6:30
18:30 (主日のミサ)

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F 集会室、3F 応接室)

火曜日 10:00(第4・5・祝休) モンロイ神父(1F)
水曜日 10:00 村上眞理雄神父 (1F)
19:00(第1・5休) 一場修神父 (1F)
木曜日 15:00(第5・祝休) 一場修神父 (1・3F)
金曜日 19:15 村上透磨神父 (1F)
15:00 シスター庄子 (3F)

◇洛東ブロック信徒養成講座◇

【河原町教会】

第1水曜日 19:00~20:30 一場修神父

【山科教会】

毎金曜日 9:30ミサ後 モンロイ神父

【伏見教会】

毎火曜日 10:00ミサ後~11:30 一場神父

【桃山教会】

第1・2・4金曜日 19:30~20:30 一場神父

◇南部地区信徒養成講座◇

(1F 集会室)

北村 善朗神父 「祈りを学ぶ」

7月16日(木) 14:00

9月24日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

◇聖書通読会◇

(1F 集会室)

毎週金曜日 14:30~16:00

◇レクチオ・ディヴィナ◇

(都の聖母小聖堂)

毎月第3火曜日 10:30

※参加ご希望の方は事務室まで